

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
佐野駅周辺地区

平成25年7月

栃木県佐野市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
指標1	交流施設の利用者数	団体/年	3,175	3,810	3,450	確定 見込み	●	△	あり なし	●	4,197	H25年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	平成24年3月に中央公民館駐車場整備完了し、この施設の利用団体数増加につながり、整備の効果がみられた。
指標2	幹線道路の歩行者数	人/日	710	850	939	確定 見込み	●	○	あり なし			H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	交流拠点の形成、歩行環境の改善、にぎわい創出の取組等により回遊性が高まり、歩行者数の増加につながった。
指標3	空き店舗率	%	11.3	8.0	16.0	確定 見込み	●	×	あり なし	●	16.8	H24年2月	×	対象となる店舗数の減少と空き店舗数の増加がみられた。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	空き店舗活用の支援事業を活用し出店した数は増加し、空き店舗数の増加を抑える一定の効果はみられた。
指標4						確定 見込み			あり なし			H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み			あり なし			H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
その他の数値指標1	イベント開催数	回	9	/	35	確定 見込み	●	/	/	/	60	H24年7月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	地域交流センター等の開館に伴いイベント開催数が増加した。まちなかににぎわいと活力をもたらす効果がみられた。
その他の数値指標2	佐野駅周辺地区の生活環境の満足度	%	47.6	/	54.0	確定 見込み	●	/	/	/	52.1	H24年1月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	中心市街地の拠点となる施設等の整備が、「まちなかが以前より便利になった」という市民意識に変化をもたらした。
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み		/	/	/		H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	佐野駅前交流プラザ及び駅前交流広場の交流拠点としての利用促進	佐野駅前交流プラザの運営管理を専門知識や企画力、にぎわい創出の事業展開を行うことができる指定管理者に委託。指定管理者や他の民間団体が、交流拠点となるイベントを開催した。	平成24年度で年間1200件を超える施設の利用、60回のイベントが開催され、中心市街地再生、にぎわい創出や市民の相互交流の拠点としての役割を果たした。	引続き交流拠点施設の運営管理を専門知識や企画力、にぎわい創出の事業展開を行うことができる指定管理者に委託。まちなか活性化のため、目新しい事業展開を図れるかが課題。
	空き店舗活用による魅力的な商店街の創出	空き店舗を活用する事業者に対し、家賃補助・開業に係る改装費補助・開店広告費補助(各々補助率及び限度額あり)等の支援をした。	20の新規事業者が出店し、空き店舗の利用数が増加した。	さらなる空き店舗の利用の促進。支援した事業者が継続的に営める対策。
	継続的な市民主体のにぎわい創出活動の拡大	新規事業で今後持続性があり、集客力があるイベントを催す事業者に対しイベント等の催事にかかる経費の補助(補助率、限度額及び補助期間あり)をした。	集客力のあるイベントを催す4事業者が参入し、うち3つのイベントが継続して行われている。	補助期間経過後、自立した集客力のあるイベントの開催の維持。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	幹線道路における快適で安全な歩行空間の確保	交流拠点施設と観光拠点施設を結ぶ幹線道路の歩道整備をした。	来街者が、快適かつ安全に歩行できる幹線道路の歩道整備をしたが、一部未整備区間がある。	未整備区間については次期計画に計上し整備を図る。
	アクセシビリティや回遊性を高めるシンボル軸の整備	実施していない。		次期計画で整備を図る。
	居住・生活空間としてのまちなかの再生	実施していない。		まちなか居住についての検討は、今後の検討課題である。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項